

姫香王女3

ピコウオウジヨ

淫臭甘やかし

調教騎士団



DOJIN

R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

姫香玉女3

ピコウオウジョ

淫臭甘やかし調教騎士団

Presented by Garyuh-Chitai
2022 Winter

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



【これまでのあらすじ】

ファナンデル王国の第二王女リコは、森で露出オナニーしているところを悪の魔導士に拉致され、魔術によって常に淫臭を放つ変態フタナリ肉便器に変えられてしまう。

騎士団により救出されたものの、魔導士の肉体改造術を学んだリコは城に帰還したあと周囲の美女たちを次々と淫臭で発情させ、さまざまなチンポ改造を施して快楽メス奴隷に墮としてしまう。

チンポ快楽に墮ちた者はさらに別の者を墮とし、いつしかチンポ女になることを自ら望む者が激増。いまや王国のいたるところで中出し交尾が繰り広げられ、人々の全身から絶えず濃厚な淫臭が溢れ出していた——が、政治も経済も外交もまったく問題無く、むしろ国民の生活はすごく充実していたためリコたちは毎日濃厚なチンポセックスを楽しんでいるのだった。

そして、その波は隣国バンザルジ王国へと広がろうとしていた——。

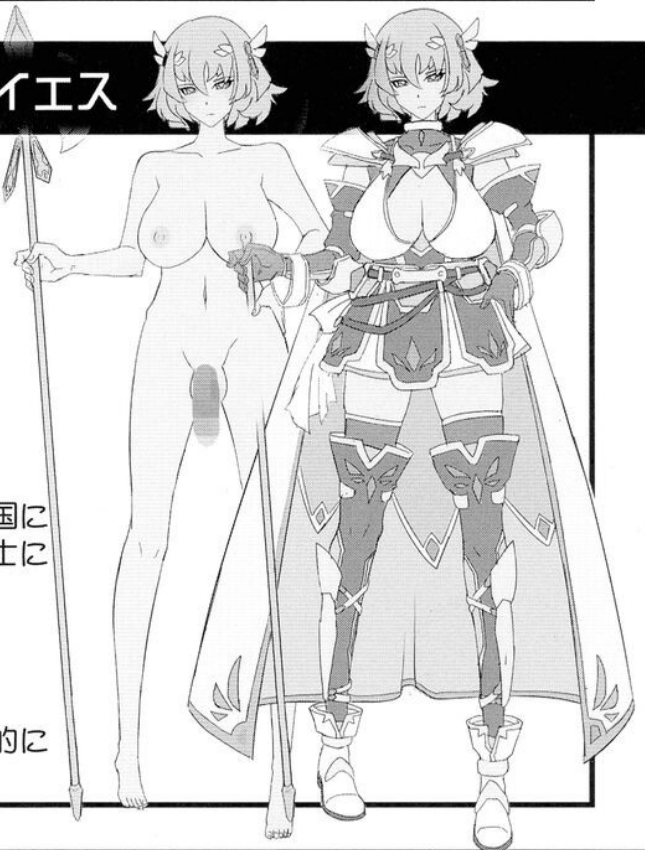
バンザルジ王国騎士団長 キリアン・ライエス

今作の主人公。バンザルジ王国騎士団長。
ファナンデル王国騎士団長のアレッサよりも2歳年下。
アレッサは幼少時より親友であり剣士としても女性としても尊敬している。

ある日、領内で貴族の少年が護衛の男と包茎いじめマゾセックスしているのを目撃して以来、激しくチンポへの憧れを抱くようになった。

その2年後にリコの拉致事件が発生し、ファナンデル王国にフタナリ痴女化が蔓延。憧れのアレッサも淫臭チンポ剣士に墮ちたと聞き自身の欲情が抑えられなくなった。

独りでリコたちのもとを訪れ念願の淫臭包茎チンポを授かった後、自国へ戻り騎士団の部下や領民をフタナリ痴女に墮とし、現在は両国の淫乱痴女騎士団同士で定期的に合同訓練と乱交を行っている。



ファナンデル王国騎士団長 アレッサ・グレイヴ

ファナンデル第二王女リコ姫の警護担当であり、王国騎士団長。
リコ姫拉致事件では救出に成功したものの騎士団全員とともに淫臭に侵され、リコの手によって爆乳巨根チンポ女に改造され変態痴女剣士に墮ちた。

もともとリコ姫を愛していたことに加え、強い凌辱願望持ちだったため、現在はリコの性欲処理担当としても仕えている一方で騎士団全員と乱交も欠かさない。

隣国のキリアンは子供のころから剣の腕を競い合った仲であり妹のように可愛がっているが、ファナンデル国内のフタナリ化の波がバンザルジ王国へ迫ったことで国交が断絶されてしまう。

そんな中、フタナリ化を懇願してきたキリアンをチンポ改造し自らの手でたっぷり中出し肉便器調教したことにより両国に平和を取り戻した。



第二王女 リコ・ファナンデル



もともと人一倍変態性癖をもっていたが、悪の魔導士に拉致され淫臭に発情しながら処女喪失。魔物に輪姦調教、そしてフタナリ爆乳改造され、魔族チンポとの結婚を懇願するまで快樂堕ちした。

魔術使いの才能もあるため、討伐された魔導士の秘術を使って親しい騎士団長、侍女、聖職者、呪術師たちを淫臭で筆絡。自らのチンポで肉便器調教し、それぞれの性癖にあわせたチンポ改造術や召喚した触手による中出し調教等により、彼女たちがひそかに抱いていた変態マゾプラ性欲を解放した。

そのフタナリ秘術のせいで国内にはチンポ女が蔓延。ついには隣国バンザルジへと及び、国交断絶の騒動を引き起こしてしまう。

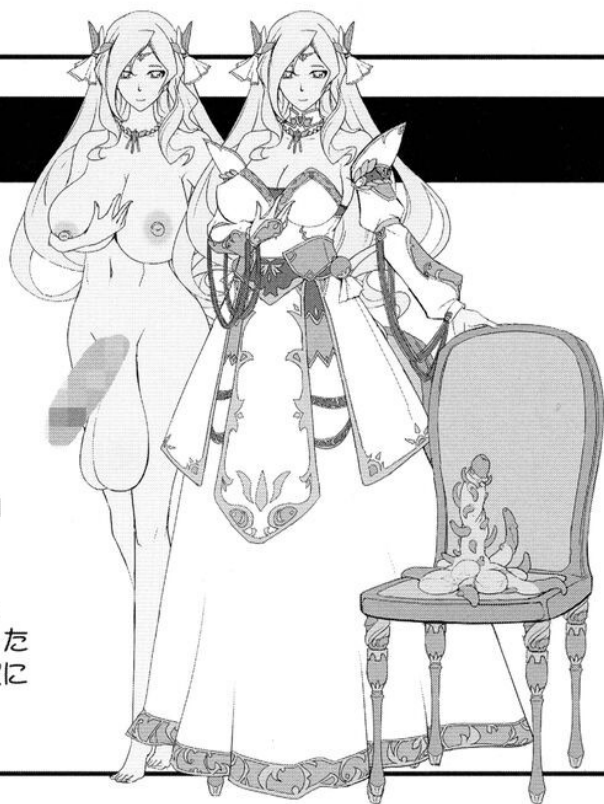
第一王女 ロゼ・ファナンデル

リコ姫の義姉で次期王妃となる予定。文学を愛する大人しく真面目な性格。他者には優しく自分には非常に厳しい。

義理の妹であるリコのことを溺愛しており、彼女が拉致されて変態チンポ女になる以前から、ずっと妹姫の妄想スケベ話の聞き役をつとめていた。

その影響で性の知識は豊富で市井のエロ小説に精通しているだけでなく、リコのためにひっそりと自らも変態エロ小説を執筆している。

真面目過ぎて思いつめる性格を心配したリコから「もっとだらしなく生きてほしい」と巨大でだらしなく垂れ下がったキンタマを与えられ、現在ではほぼ毎日愛しい妹姫の肉穴にオス臭い精液を排泄してイキ狂っている。



某日——
ファナンデル王国
騎士団訓練場

ファナンデル王国
バンザルジ王国

両軍の誇り高き
騎士たちよ！



合同訓練最終日の
模擬戦を行う！

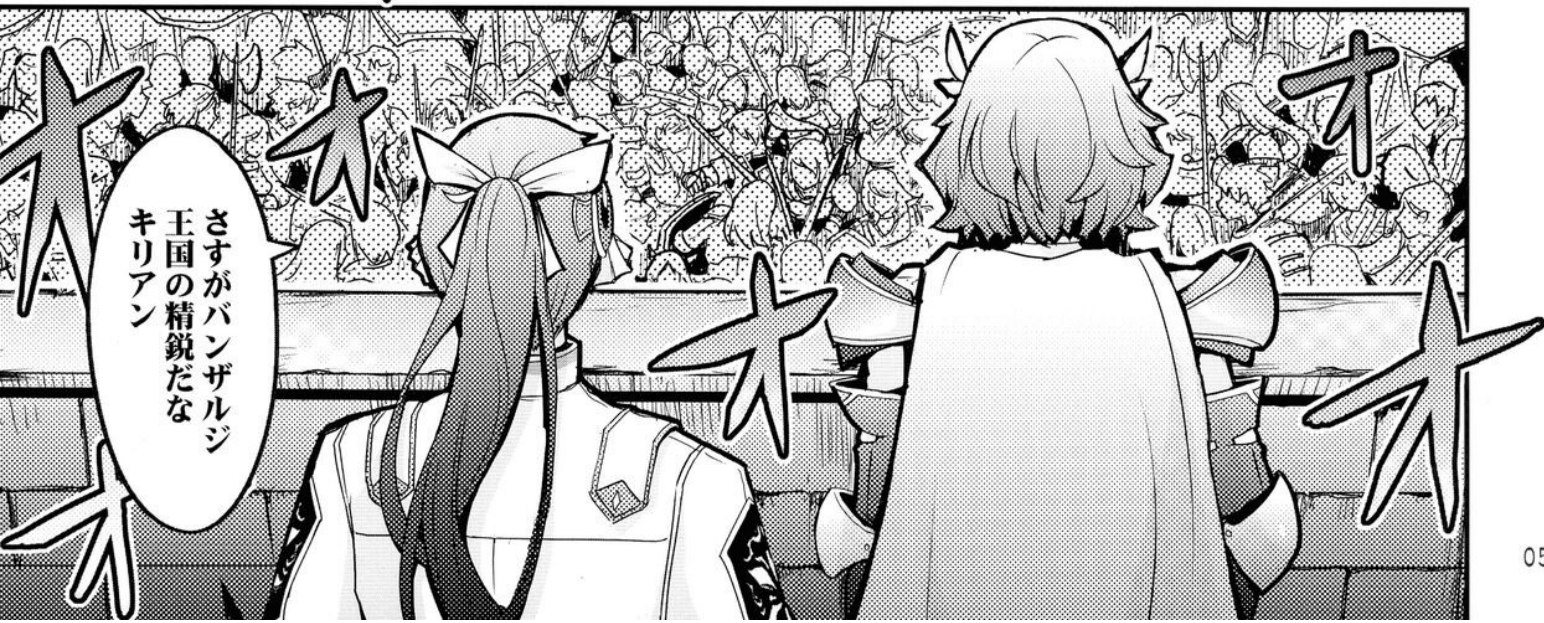
訓練とはいえ両国の
榮譽をかけた戦いである
ことに違いはない！



実力伯仲している者同士
油断したら命を落とす
戦争であると思え！

戦闘用意！

はじめっつ！



さすがバンザルジ
王国の精鋭だな
キリアン



前回の合同訓練
よりもみんな腕が
上がっている

もちろん
その隊長もだが

それはファナンデル
騎士団の方々も同様

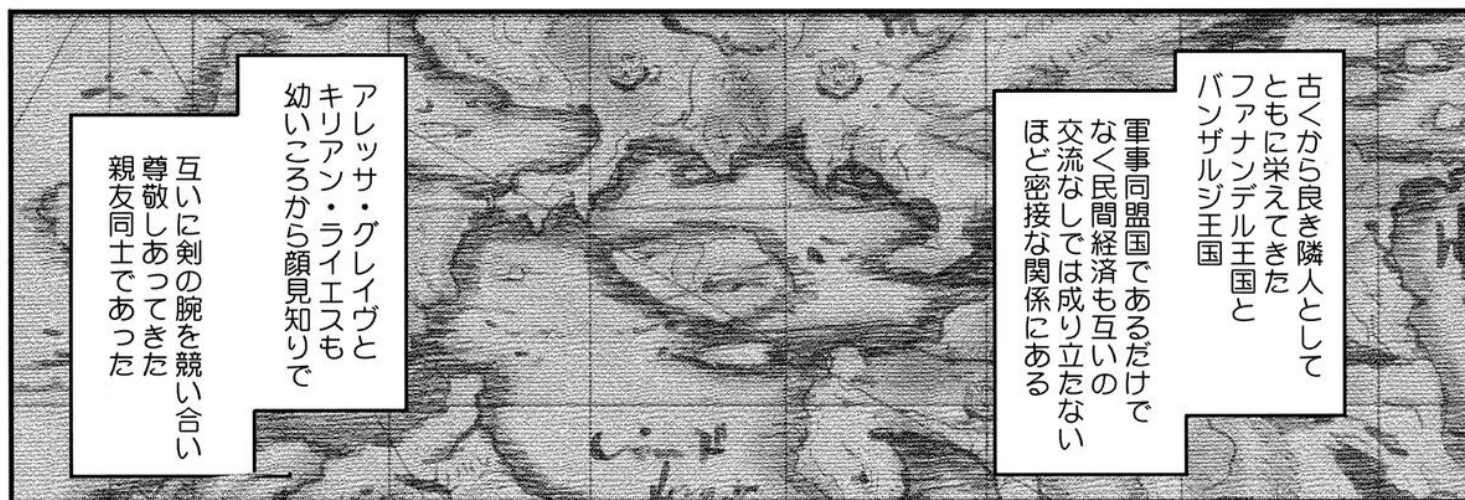
さすがアレッサ殿に
率いられている精鋭

貴国と同盟国で
良かった



まあ…危うい時期も
あったがね

ええ…



古くから良き隣人として
ともに栄えてきた
ファナンデル王国と
バンザルジ王国

軍事同盟国であるだけで
なく民間経済も互いの
交流なしでは成り立たない
ほど密接な関係にある

アレッサ・グレイヴと
キリアン・ライエスも
幼いころから顔見知り

互いに剣の腕を競い合い
尊敬しあってきた
親友同士であった



だが唐突に
事件は起こる

例の「リコ姫拉致事件」に
よってファナンデル王国に
猛烈な勢いで拡散した

淫臭チンポ
メスプタ化の波

事態を重く見た
バンザルジ王国政府は
国境を封鎖

だが――
キミのおかげで
すぐに解決したな

……そう
……ですね……

チンカス包茎の
むず痒い感覚

皮の中をほじくられる
脳を溶かす甘い痛み

ほうら 合同訓練中
ずっとおあずけされてた
くっさいチンカスほじり

存分に味わうが
いいさ

ダメえ…部下がいる…
言わないで…っ♡

自分で言いたい
からか？

命がけの模擬戦の中
チンポを丸出しにして
ドスケベ淫臭を垂れ流し

『敵将』にセンスリ
射精をねだる姿を
見てほしい、と

ああ…センスリ…
マソチンポおっ…っ♡

見られる…見
…ああ…っ！

んお♡
んあ♡

このキンタマにため込んだ
スケベ精液を見てほしいと
言いたいんだな？

ああ…見
見られ…♡

は♡

あ♡

みんなに…
見られた…い…っ♡

だが まあ
心配は無用だな
キリアン殿



とつくにみんな
知ってるから

いまなら
驚きもないさ

チヤア



あぁ...いやらしい
目で見られて...
るっっっっっ♡

露出チンポセンサーで
発情してる変態だって...
軽蔑されて...♡

ああああ...♡

あ♡

あん♡



それにキミの
部下も私の部下も

このチンポの臭いに
魅了されて
とつくに
マソチンポ騎士に
堕ちてるしな♡

むわ

むわ

あ♡

ああ...♡

アレッサ殿の
でかチンポお...♡

は♡
あ♡



ぜ 全員…
注目…っ

訓練…
そこまで…っ！

光

私はこれより…
『いつもどおり』
アレッサ殿に

包茎スケベチンポを
マゾ調教していただく
…っ♡

見マ

ちんぽ
見マ

ズン♡

ズン♡

全員 私のケツ穴が
惨めに屈服するところを
よく見ながら

はー♡

はー♡

この目のために
溜め込んだキンタマ汁を
存分にぶちまけるように
…っ♡♡♡

はー♡

おん♡♡♡







国交が絶たれている中
一人で『敵国』である
ファナデルへやって
きて――



リコ王女…恥を忍んで
お願いいたします！

わたくし…
バンザルジ王国騎士団長
キリアン・ライエスは

姫様の秘術により…

ほ…包茎チンポを
賜りたいと存じますっ!!



は？



なにとぞ…っ！

本国では決して
明かすことの
できない

マソフタ性癖を
こじらせた変態
騎士の願いを
お聞き届け
くださいっ！

このとおり！

ええと…とりあえず…
両国の状況が状況
ですので

理由をお聞かせ
願えますで
しょうか？





じ…実は…2年も
前のことです…



訓練地の見回り中
男たちの声を
耳にしまして
そこにいたのは
貴族の若者と
護衛の男でした



普段は紳士的な護衛が
加虐的な素顔を見せ

主である少年の包茎
チンポを舐めながらも

ケツ穴中出して
愛し合っていました

主様のメスガキ
チンポは本当に
貧相で情けない
ですね

あつ…ああつ♡
情けないの…
僕の包茎チンポ♡

マゾイキチンポ…
もつと囁つてえっ♡

やれやれ高貴な血筋で
誰もが羨む美貌を持つ
貴族の御曹司が

平民出身の護衛なんか
ケツ穴ハメラれてマゾ
イキしつばなしとは

あなたを狙う
メスどもが知ったら
悲しみますよ？

好き♡

いいの…女なんか
成金マンコなんか
どうでもいいっ！

お…僕はお前の…♡
あ…あなたの
お嫁さんになるの♡

好き♡

あなたのチンポだけの
ケツ穴婚姻にされたい
いい…♡

ああ…クソガキ
チンポ見て…♡♡
イクところ見てえっ♡♡

その夜以来 私は
メスガキチンポに
憧れてしまったのです

びくっ♡ びくっ♡ びくっ♡

あああ…私も…
私もチンポ欲しい
いつ♡♡♡

マンコじやダメ…
もうメス穴だけに♡
満足できない♡

臭くて惨めなメスガキ
チンポ…みんなに
見られてバカにされて…♡
マゾイキしたい♡

あ♡

あ♡

お願い…チンポの皮
甘噛みされたい♡

チンカスと一緒に
ぐちゃぐちゃ
嘔み潰してえっ♡

ちんぽ♡

ちんぽ♡

びくっ♡ びくっ♡

びくっ♡ びくっ♡

びくっ♡ びくっ♡

無理矢理皮をむかれて
ケツ穴犯されて…♡
痛くて…恥ずかしくて…♡

敗北チンカス精液
ブリブリ射精するうっ♡

イク♡

イク♡

そんなある日—
幼少の頃より姉のように
慕い 敬愛していた

アレッサ殿が変態チンポ
メスブタ騎士に堕ちた
という話を聞き

夢のような現実に
私はもう—
我慢できなかったのです

ですが現実
は憧れと真逆

『隣国からのチンポ女の
侵入を防げ』という
王からの命令により

私は最前線で憧れの
チンポと敵対しな
ければならなかった

目の前の国境線を
超えれば敬愛する人の
チンポがある

トロ...

トロ...

毎夜、いや、朝も昼も
私をむしばむ包茎調教の
願望が満たされる

どんな拷問よりも
苦しい日々から
解放される

は

は

そして私は…
淫欲に敗北しました！

祖国を裏切り 仲間を捨て
こうして独りでチンポ降伏する
最低のメスブタ騎士団長…

いや もはや騎士で
すらない！

あさましい
性欲敗北者として
あの貴族の少年のように

私を包茎チンポ奴隷に
調教して欲しいのですっ！

あの もう準備
できてますので

はぁ はぁ はぁ はぁ

そろそろ
いいですか？

あ
はい。

そして即日
願望は叶えられ

あああ…♡

これが…私の…
チンポお…♡

分厚い皮の中が
すでにチンカスで
むず痒い…♡

は♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

ビク♡

ビク♡

ビク♡

♡=♡

♡=♡

なんて素敵…♡
理想通りの
メスチンポ…♡

淫紋と触手の媚薬体液
によってさらに快感は
増している
姫様に感謝
するんだぞ？

んああ…ああ…♡
は…はい…♡

ビク♡





ああああ
あああつ♡

はじめての…
射精ええつ♡

くさいっ♡痛いつ♡
きぼちいいいつ♡
♡♡♡

んおっ♡
んおっ♡

と…とまらな
いっいつ♡

オスチンポで
イッてるのに…

マンコも
イクううッ♡

キンタマと子宮が
一緒にイクううッ♡

へっ♡

エム♡
へっ♡



わたひの...
魅力...?
精液便所になって
射精する...
わたひの...素顔...



キリアン
確かにキミは
性欲に敗れた
だが『裏切り者』
ではない

知人に会いに
独りでここに来て

たまたまチンポ
便所騎士に堕ちて
しまっただけ

『ファナデル国民の
入国を防げ』という
貴国の命令には背いて
はいない

キミは堂々と
この包茎チンポを
ぶら下げて帰国し
バンザルジの民に淫臭
快楽を教えてあげれば
いいのだよ
対立は終わり
平和が訪れる
キミのおかげでね

はあ♡

イル...
イル...

あ♡

あ♡

そう...か...
確かにその通り...

私は...私は...包茎
チンポ性欲に
負けただけ...

祖国に対し何も
後ろめたいこと
など無いのだ...

びゅん♡
びゅん♡

くぽあ♡

あ...ありがとう
アレッサ殿...
私はあなたに誓う

みんなにマゾブタ
チンポの快楽を
教えてくると誓う...

ちんぽ♡

ぬちゅっ♡

だから...は、早く
私の処女マンコを
犯し

ちんぽ♡





お…お願い…です
もっとひどく…
乱暴にしてえっ♡

そんなに…優しく
しないで…っ♡

ほう…
なぜだい？

こ…怖いんですっ…
初めてなのに…
痛いはずなのにっ♡
ぎゅぎゅすぎて
怖い…♡♡♡

子宮に…アレッサ殿の
チンポ…ぐちゅぐちゅ
キスしてるううっ♡
ダメえ…優しく
するのダメええっ♡

ガッ!
ガッ!

ガッ!

ガッ!



やれやれ 謙虚で
自虐的なフリを
しているが

「アレをして」だの
「コレはダメ」だの
ワガママな奴だ

ほらほら 初めて
キンタマでべちべち
叩かれる甘い感覚
最高だろう？

おほっ!
うヒいいっ♡
コレ…すごっ♡
アタマまで響くうっ♡

我らが姫様 そして
ファナデル騎士団の
チンポ調教は

虐待にあらず

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

あゝ

はゝ

あゝ

犯し 焦らし
蔑み 愛しながら

徹底的に甘やかす♡

姫様から賜った
コレを使つて
教えてやろう

脳がとろけて
魔人になろうとも
一生忘れられない
甘やかし調教の
真髄を――

ひっ…ああっ!
ああああ…っ♡



んぽおおっ♡

んぽおおっ♡

んぽおおっ♡♡♡

びびっ!

びびっ!

びびっ!

びびっ!

びびっ!

びびっ!



ふふ、口もマンコも
ケツ穴も大量に射精
される一方で

チンポ精液や母乳を
吸い取られる

身体が作り
替えられるような
恐怖と快感だろう？

大丈夫だよ、すぐに
頭の中まで甘ったるく
溶けていくから♡

ほびっ♡
ぶひっ♡

んぽおおっ♡

オホっ♡



んあああつ♡

妊娠してないのに
おっぱいが…母乳が
こんなにいつ♡

精液も…射精も
とまらないいつ♡

あひいつ♡
んああつ!

メスとオスの
快楽に…全部
溶けるうつ♡



一緒にイクぞ…
とろけたマンコ袋で
受胎しろっ!

さあ 初めての
マンコ中出しだ
私のナマ精液で
しっかり孕めよ

は…孕みますっ♡
キンタマ汁でマンコ
孕ませてええっ♡
チンポ射精しながら
妊娠するうつ♡

イグ…イぐう…ッ♡

おぶっ!

んこっ♡



んおおおッ♡♡♡

きた…っ♡
きたああっ♡

妊娠チンポ
せーえきいいっ！

んおっ♡おホっ♡
んおおお…っっ！

イク…イクっ♡
っっっっっっ♡♡

ドッ♡

ゴッ♡

ゴッ♡



ああ…気持ちいい
こんなに甘く愛された
のは初めて…♡

げぶっ♡
ごぶうっ♡

おほお…おっ♡

はああ…好き…好き…
孕ませチンポ…♡
愛してるう…っ♡♡♡



このあとキリアンは
自軍へと帰還

バンザルジ騎士団は
彼女によつて即日
メス豚娼婦軍へと
堕ちた

キリアンたちによる
甘やかし調教によって
バンザルジ王宮も
メスチンポ化し

ファナネル王国との
国交は正常化した

キリアンは平和を
もたらした功績を
たたえられ

両軍は定期的に
合同演習とチンポ乱交を
開催することとなった

そして
現在に至る――

——
というわけで
お義姉さま♥

隣室の声も
増えてきた
ようですし

ええ そろそろ
私たちも混ぜて
いただくかしらね♥

お待ちしており
ました 姫様

バンザルジの方々は
もう我慢が出来
なかったようで
先に輪姦を始めて
しまいました

ぐぼっ♥

げぶっ♥

おげえっ♥

オラッ この変態
チンポ女隊長♥

部下のアタシたち
ほったらかしにして
アレッサ殿とハメ
狂ってんじやねえよ♥

もー…はやく
交代してよー

あたしも隊長の
クソ穴にチンポ浣腸
したいんだからさあ♥

隊員全員をこの貧相な
包茎で淫売チンポ騎士に
堕として

本当の幸せを教えて
くれた責任 とって
もらわないとね♥

バチゅん♡

両国の危機を救った
英雄が大切な部下に
犯り捨てて便器扱い
されているなんて

本当に愛されて
いるんですね♡

私も失礼して…
ふふ 自慢の淫臭
キンタマ袋…♡

いかがですか？

おへっ♡

はへ…えっ♡

むわ

むわ

むわ

ふふ
嬉しそう♡

もしご希望なら
そんなガキチンポ
じゃなく

ズルむけ
チンポに変える
こともできますよ？

どわん！

どわん！

ワズ ワズ

ワズ

おらん！

おらん！

い…いやだ…
このチンポがいい…♡

包茎で早漏で…もつと
小さくてもいいっ！

愛する部下に…大切な
国民みんなにバカにされて
弄ばれるマゾチンポが
一番好き…♡♡♡

見て♡

ちんぽ♡

見て♡

アタシたちもこの
チンカスまみれの
クソガキチンポが
大好きだから

一生このまま
カッコ悪い包茎で
いてほしいなあ♡

だよねえ♪
強くてカッコよくて
優しい隊長だもん♡

チンポくらいバカに
しながら愛したい
よね♡♡♡

ねっ♡

にっ♡

にっ♡

隊長の聡明さに撞れて
入隊したのに こんな
マソブタだって知った
ときは

嬉しくて一晩中
泣いちやったん
ですからね♡

もっ隊長
聞いてます？

ウンコ穴ばつか
しやぶってないで
返事しろオラア♡

んぎよえっ♡
ひぎっ♡♡♡

ごっ…ごべん
なさいいっ♡

隊長のこと性欲排泄
便器に使ってるって
実家に自慢したら

妹も今度入隊する
って張り切ってる♪

立派なチンポ
娼婦に鍛えて
やって下さいね♡

はい…新兵全員
チンポ娼婦騎士に
する…しますう…♡



ほう…私を
貴国へ招待
してくれると



ええ 紛争危機も
すでに昔のこと

おかげさまでわが国
にもすっかりメスプタ
チンポ肉便器は定着し

ファナンドル王国への
偏見もありません



王族の方々は？

今となつては王宮も
チンポ女だらけです

大歓迎ですよ

ありがとう
ご招待 喜んで
お受けするよ

実は自分からお願い
するつもりでいたんだ

さすが親友
私の気持ちを汲んで
くれていたんだね

だから私も
キミが考えている
ことが分かるよ

今度は私が土下座して
「皆さまの公衆便所に
して下さい」と懇願
する姿が見たいのだろう？

王城の中—いや一般市民の
前で脱糞孕ませマゾ絶頂に
狂うファナデル騎士団長の
醜態を—

ふふ
やはりアレツサ殿は
聡明でいらつしやる

すべてお見通し
ですね

そもそもこの提案を
私が自信をもって口に
できるように

今まで根気強く
『甘やかし調教』の極意を
この身に叩きこんで
くれたのでしょうか？

未熟者ゆえお手間を
かけましたが
ようやくお誘い
できました

もしかして…
随分とお待たせして
しまいましたか？

どうだろうね—でも
確実に言えるのは

楽しみすぎて…もう
チンポが甘くうずいて
いるということ—



